

|                    |   |  |    |               |        |      |    |
|--------------------|---|--|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名<br>Course Name | 介護の基本 I<br>Fundamentals of Care I   |  |    | ナンバリング<br>No. | J1-005 |      |    |
| 年次                 | 1 年   | 期別   | 前期 | 単位数           | 2      | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名              | 秋山巖   |  |    |               |        |      |    |
| 連絡先(質問等)           | 福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは月・火・木・金曜日の授業担当時間以外。  |  |    |               |        |      |    |
| 必修/選択              | 選択(介護福祉士養成課程 必修)  |  |    |               |        |      |    |
| 関連 DP              | DP2,DP3,DP5   |  |    |               |        |      |    |
| 授業の概要と<br>到達目標     | <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>介護を必要とする人に対して、生活支援をする専門職として基本となる考え方を学ぶ。さらに、わが国のさまざまな介護問題を通して、介護の専門職としての社会的役割と職務についての理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①現代日本における介護問題を調べ、発表できるようにする。<br/>                 ②他者の発表を聴くことを通して、介護福祉士を取り巻く状況と問題を説明できるようにする。<br/>                 ③日本においてなぜ介護福祉士が誕生したのか、社会的な背景と関連させて説明できるようにする。<br/>                 ④介護福祉士の役割と専門職能団体の機能について、説明できるようにする。<br/>                 ⑤身体拘束の演習を通して、人権を尊重した適切な介護とは何かを考え、支援できるようにする。</p> |  |    |               |        |      |    |
| 授業の方法              | 講義を主とするが課題学習も取り入れ、学生が自ら調べ考え発表する機会を設ける。  |  |    |               |        |      |    |
| 学習成果               | L01   |  |    |               |        |      |    |
|                    | L02   | 様々な社会的背景による介護問題と介護福祉士を取り巻く状況を把握し、介護を担う専門職として求められる社会的役割を説明することができる。 |    |               |        |      |    |
|                    | L03   |  |    |               |        |      |    |
|                    | L04   | 人権尊重とは何かを常に考えながら、介護を実践する態度を身につけることができる。                            |    |               |        |      |    |
| 課題に対する<br>フィードバック  | レポート・平常試験レポート課題ともコメント記入・評価後学生に返却。   |  |    |               |        |      |    |
| 教科書/<br>参考図書       | ①教科書:最新・介護福祉士養成講座第3巻「介護の基本I」と第4巻「介護の基本II」中央法規出版<br>②介護福祉用語辞典 中央法規出版<br>③社会福祉小六法 ミネルヴァ書房   |  |    |               |        |      |    |
| 履修上の留意点<br>やルール等   | ●講義・グループ学習ともに積極的に参加し、学びを共有してほしい。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。<br>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。   |  |    |               |        |      |    |
| 担当教員の<br>実務経験      |   |  |    |               |        |      |    |

| 成績評価の方法と基準 |   |         |     |     |     |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域      | 評価基準  | 学習成果の割合 |     |     |     |
|            |   | L01     | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度     | 授業の準備が整い、講義は集中して必要なことをノートに取り、疑問点は質問して解決できること。課題学習時には協力して取り組み、自ら積極的に発言して学びを深められること。                  |         | 10  |     |     |
| レポート/作品    | 「介護を取り巻く状況」について文献調査し、レポートにまとめる。評価基準 S は、課題を十分理解し、必要な文献を調査精読していること。他の人にも理解しやすい正確な資料を作成し、期限厳守で提出すること。 |         |     |     | 20  |

|           |   |  |    |    |
|-----------|---|--|----|----|
| 発表        | 1:分担された項目について調べた内容を発表する。評価基準Sは、課題を十分に理解したうえで、分かりやすく工夫した発表であり、他者を惹きつけるようなものであること。質問に対して的確に答えられること。<br>2:身体拘束の演習を踏まえ、倫理観を醸成できている。(各10%) |  | 10 | 10 |
| 小テスト      |   |  |    |    |
| 試験        | 「最近の介護問題」に関する新聞記事調査とレポート作成を試験とする。どのようなことが問題なのか、なぜ解決しないのか、どうしたらより良い方向性が得られるのか等具体的に深く洞察することが求められる。                                      |  |    | 50 |
| その他       |   |  |    |    |
| <b>合計</b> |   |  | 20 | 80 |
| <b>回数</b> |   | <b>授業計画</b>  |    |    |
| 1         | <b>授業内容</b>   | ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明) 介護とは                      |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 介護のイメージを箇条書きにする。   |    |    |
| 2         | <b>授業内容</b>   | 介護の歴史、介護福祉の基本となる理念   |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | テキストP23～P45を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。                                    |    |    |
| 3         | <b>授業内容</b>   | 介護を取り巻く状況の理解①【課題調査】<課題については、授業内で説明する。>                             |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 調査をする課題に関する資料を集める。   |    |    |
| 4         | <b>授業内容</b>   | 介護を取り巻く状況の理解②【課題調査、発表の準備】<br>(レポート 提出:第5回目の授業前日)                   |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 課題調査のレポートのまとめ。   |    |    |
| 5         | <b>授業内容</b>   | 介護を取り巻く状況の理解③【発表1-①】課題調査(前半) コメント                                  |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 発表の準備。   |    |    |
| 6         | <b>授業内容</b>   | 介護を取り巻く状況の理解④【発表1-②】課題調査(後半) コメントとまとめ                              |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 他学生の発表から感じたことを列挙する。  |    |    |
| 7         | <b>授業内容</b>   | 介護の目的と原則 求められる介護福祉士像   |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 社会福祉小六法 P2,3を読んで、基本的人権の部分にしるしをつける。                                 |    |    |
| 8         | <b>授業内容</b>   | 介護福祉士の役割と機能① 社会福祉士及び介護福祉士法 定義 義務                                   |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 自身の家の周りにどんなサービスがあるか調べる。  |    |    |
| 9         | <b>授業内容</b>   | 介護福祉士の役割と機能②<br>名称独占と業務独占 養成制度 登録状況 専門職能団体の活動と役割、機能                |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 社会福祉小六法 P119～P129を読んで、思ったところを列挙する。                                 |    |    |
| 10        | <b>授業内容</b>   | 利用者の人権と介護① 職業倫理 (介護福祉士の倫理 介護実践の場で求められる倫理) 身体拘束とは<試験課題提示、詳細は授業内で説明> |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | テキストP126 日本介護福祉士会倫理綱領を書き写す。  |    |    |
| 11        | <b>授業内容</b>   | 利用者の人権と介護② 身体拘束とは  |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | テキストP122、P123の事例を読んで、思ったことを列挙する。                                   |    |    |
| 12        | <b>授業内容</b>   | 利用者の人権と介護③ 身体拘束を考える【演習】  |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 演習後の感想を発表できるよう準備する。  |    |    |
| 13        | <b>授業内容</b>   | 利用者の人権と介護④ 身体拘束演習のまとめ【発表とまとめ】                                      |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 他学生の発表を聞いての決意を書き記す。  |    |    |
| 14        | <b>授業内容</b>   | 利用者の人権と介護⑤ 高齢者虐待 児童虐待  |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 虐待に関する記事を切り抜くかプリントアウトする。   |    |    |
| 15        | <b>授業内容</b>   | プライバシーの保護 個人情報保護   |    |    |
|           | <b>事前・事後学習</b>  | 個人情報と思うものを列挙する。  |    |    |